

毎月1日発行

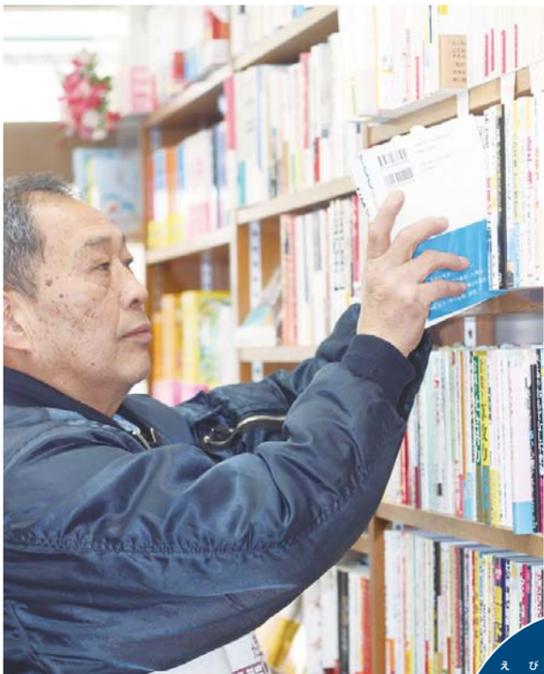
こ る み

No. 246
2018



鶴見区ツイッター
区内イベント情報を発信中。
ぜひ、フォローください!

平成30年
広報よこはま
鶴見区版4月号



本の魅力を伝えて

えびさわつねお
海老澤 恒夫
×
雑誌と本

ファンを増やしたい

こだわり商店街紀行⑪

「わたし×○○○」

最終回

書 店の前は米店で、もっと昔は配給所だったんです。店が今の形になってもう40年近くになりますが、書店として本格スタートしたのがちょうど5月だったので、「さつき書店」としました。ただ、今もお米は扱っているので、海老澤米店の看板も出し、本とお米を一緒に届けるなんてこともやっています。扱う本は主に雑誌ですが、時世に合った話題本の特設コーナーも作って、お客さんが手に取りたい工夫も。特にうちは平日に親子で来店されるお客さんが多いので、女性向け雑誌や子ども用絵本もそろえています。ちなみに、今月と来月は店内で子ども向け読み聞かせ※を開催予定です。近年、活字離れが叫ばれる中、幼少期から本の楽しさや魅力を知ってもらうことで、どんどん書籍ファンを増やしていきたい。そんな思いで、日々店頭で立っています。今や岸谷では唯一の書店となりましたが、地域の人が集え、常に情報発信できる、そんな存在でありたいと思っています。



毎月テーマを変え、旬の話題に関連する書籍を各コーナーに陳列
区役所地域振興係 ☎ 510-1688 fax 510-1892

【海老澤恒夫さん(70)】ご両親が戦後に開業した精米店兼書店を引き継ぎ、その後、書店をメインにした「さつき書店」に。書籍を扱うかわら、店の一角でお米の販売も行う。

【お店情報】
「さつき書店」(岸谷1-28-29) 岸谷商栄会(協) ☎ 581-5887 日曜日
<※子ども向け読み聞かせ> ☎ 4月21日(土)、5月12日(土) 15時~15時30分 ☎ さつき書店内 ☎ 小学校低学年以下 先各10人 無料 ☎ 4月16日から10時~13時に店舗へ連絡

JR鶴見線で巡る 緑のスタンプラリー

第2弾

区の南部、工場地帯を走るJR鶴見線には、海芝浦駅の「海芝公園」や弁天橋駅の「ゲートプラザ公園」など、自然が楽しめるスポットが点在しています。そして今年も、「ガーデンネックレス横浜2018」の一環で、沿線の緑を巡るスタンプラリーを開催します。スタンプ3つ以上で、鶴見線デザインのオリジナルコースターをプレゼント! この機会に、ローカル線の味わいと鶴見の春を、ぜひお楽しみください。

☎ 4月28日(土)~5月6日(日)

☎ スタンプ帳配布・記念品受取場所

JR鶴見駅西口改札外、入船公園管理事務所
※配布・受取:9時~16時 記念品 ☎ 3,000人
スタンプ設置場所(各駅とも改札外)
JR鶴見駅西口、国道駅、弁天橋駅、入船公園管理事務所内(浅野駅下車)、海芝浦駅(海芝公園近く)



鶴見線デザインオリジナルコースター

先着 3,000個

入船公園で 緑のイベント開催!

- ① たねダンゴづくり教室
☎ 4月29日(日・祝)
10時30分~12時
 - ② フラワータワーづくり教室
☎ 5月3日(木・祝)
10時30分~12時
- 無料 ☎ ①15人②10人
☎ 当日直接会場へ



区役所企画調整係
☎ 510-1677 fax 504-7102

トピックス TOPICS

町内会に入っていないから、地域のことがよく分からないのか



町内会がないと...

地域のことがよく分からない

回覧板もなければ、防災に関する情報も全く届かない。だから、自分の住む地域のことが全然分からない…。そんな大切な情報が届くのも、町内会があるからこそなんです。

毎日、安心して暮らせるのも

夜道を照らす防犯灯の設置や地域での防犯パトロールも町内会があるからこそ。私たちが日々安心して暮らせるのも、町内会の地道な活動のおかげなのです。

楽しいお祭りや行事があるのも

お祭りや盆踊り、運動会に子ども会イベントなど、地域みんながふれあえる場も、町内会が作り出しています。そんな地域文化の継承も町内会の役割です。

町内会のある暮らし vs 町内会のない暮らし

普段の当たり前も実は町内会がやってくれてるんだね



災害時の安否確認や日々の見守りが不安

災害時に私たちがお世話になる地域防災拠点。その運営をはじめ、防災訓練や要援護者の見守りも町内会が行っています。町内会に入っていれば、緊急時の安否確認や日々の見守りも安心です。

区役所地域振興係
☎ 510-1687 fax 510-1892

そんな町内会が今、危機に直面!



区役所
地域振興係
江口晃志

高齢化や加入率の低下で人手不足が深刻化

今、全国の町内会で会員の高齢化が急速に進んでいます。また、転入者の増加に伴い加入率も低下し、町内会が「地域を代表する組織」として存続できなくなる可能性もでてきています。中でも、かつて開発などで同時期に戸建てやマンションが建った地域では、住人が一斉に高齢化。町内会の運営自体が難しく

なり、近隣町内会との合併や、最悪は会の解散という事態も起こり得ます。特に防災面は深刻で、防災訓練や災害時対応での人手不足は否めません。そうならないためにも、ぜひ自治会町内会への加入をお願いします。誰もが住み良いまち・鶴見を、みんなで協力し合い作っていきましょう。